



ドライアイスから、二酸化炭素を集める方法を教えて



二酸化炭素は、空気より重い気体なので、ポリぶくろや、びんの底に集めるのはかんたんなのさ。

ドライアイスを入れたポリぶくろに入れておけば、二酸化炭素に変わる

ドライアイスは、気体の二酸化炭素を特別な方法で低温に冷やし、圧力を加えて固体にしたものです。水蒸気すいじょうきが、冷やされて固体になった氷と同じようなもので、室温で液体にはならず気体になって、二酸化炭素を出します。

ポリぶくろにドライアイスを入れ、中の空気を追い出し、ぶくろの口を輪ゴムなどでしばって、皿の上などに置いておきましょう。室温で気体になって出てくる二酸化炭素で、ポリぶくろは大きくふくらみます。

空きびんにドライアイスを入れておけば、二酸化炭素がたまる

びんの中にドライアイスのかげらを入れて置くと、どんどん気体になって出てくる二酸化炭素が、空気より重い気体のため、底にたまっていきます。やがて、ドライアイスがなくなるころには、びんの中の空気はおし出され、中には二酸化炭素だけがたまります。

ドライアイスは、 -78.5 で気体になる特別低温な固体なので、手でさわると、皮ふのタンパク質が変化して、やけどのようになることがあります。また、部屋の中で二酸化炭素がたくさん出ると、酸素不足きけんなどになって危険まどなので、必ず、空気が入れかわるように、窓やドアを開けましょう。

